

おおわし

新潟市立大鷲小学校 住所 新潟市南区東笠巻 1202
 電話 025-362-5431 ファックス 025-362-5554
 E-mail e607owashi01@city-niigata.ed.jp
 ホームページ http://www.owashi.niigata-city.ed.jp/

「記念式典」

校長 柴澤明子

10月22日(土)に、創立40周年記念式典が行われました。コロナ禍で、開催も危ぶまれていた式典でしたが、学校運営協議会の皆様、渡辺PTA会長様はじめPTA役員の皆様、当校職員、そして92名の子どもたちと共に祝うことができました。

この式典で、どうしても子どもたちに伝えておきたいことがありました。式辞で次のような話をしました。

皆さん、40年経った大鷲小学校を見てください。校舎もグラウンドもとてもきれいです。それは、この学校を地域の皆さんが愛し、大切にしてくださっているからです。そして、この校舎で過ごした多くの子どもたちや教職員が、「次の子どもたちのために」学校を大切にしていたからです。

大鷲の皆さんが、学校を、子どもたちを、『地域の宝』として、いつも温かく見守り支えてくださっていることに深い感銘を受けると共に、心から感謝を申し上げます。

92名の子どもたち、あなたたちが大人になった時、この大鷲小学校で学んだことを、きっと誇りに思うことでしょう。あなたたちが「この大鷲小学校で、人として大切なことを、全て学んだ」と自信をもって言えるよう、そして将来、大鷲地区だけでなく、日本を、世界を担っていく存在となれるよう、私たちは精一杯努力をして、あなたたちの学びを支えていくことを約束します。



これまで、大鷲小学校にかかわった全ての人への感謝の気持ちと、そして大鷲小学校の職員として勤務できることの幸せと重責を、改めて感じた式典となりました。

◆「あいさつ運動」を地域へ～「あいさつプロジェクト」作戦！～

児童会で、登下校時や地域の中でのあいさつを活発にしていけることを目標に「あいさつプロジェクト」作戦を計画しました。

第2回コミュニティスクール学校運営協議会で提案したところ、承認をいただきました。そこで、児童会が中心となり、大鷲地域と小学校が協力して「地域あいさつ運動」を行うことにしました。学校では、「あいさつペンダント」を大鷲小校区全世帯数分作成し、各自治会を通して配布します。



【あいさつペンダント】

地域で「おはよう」「こんにちは」「いってらっしゃい」「おかえり」「さよなら」

子どもたちは「おはようございます。」「こんにちは」「さよなら」「いってきます」「ただいま」

今年度11月から始め、大鷲地区があいさつでいっぱいとなるように、みんなが温かい気持ちであいさつができるように保護者・地域の皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。

11月の行事予定

- 14日(月) B週
- 17日(木) 委員会 卒業アルバム写真撮影(6年)
- 24日(木) クラブ(4～6年生)
- 25日(金) コミュニティスクール学校運営協議会(白根北中) 児童13:30下校
- 28日(月) 6年生中学校体験(9:00～)
- 30日(水) 宮のぼりクラブ最終日(昼休み)

12月の行事予定

- 1日(木) 全校朝会・冬季バス運行開始・クラブ最終日
- 2日(金) 委員会・地域子ども会
- 6日(火) 希望個別懇談 短縮5限授業 14:20下校
- 7日(水) 市小研 4限授業 13:30下校
- 8日(木) 希望個別懇談 短縮5限授業 14:20下校
- 9日(金) 大鷲っ子祭り
- 12日(月) 年末大清掃
- 16日(金) 委員会
- 23日(金) 全校集会

※12/26日(月)～1/6日(金) 冬休み



【創立40周年記念式典】

10月22日(土)に大鷲小学校創立40周年記念式典を行いました。コロナ禍でもあり、実行委員会では、できるだけ児童と少人数の大人で行う方向で会の準備を進めてきました。当日は8時30分から静寂の中、厳かに式典が行われました。



【実行委員長の挨拶】

本式典の実行委員長である渡邊仁志 PTA 会長様により、普段から見ている大鷲小学校の児童の良いところを話していただきました。一つは、「いつも元気なあいさつができていていること」そして、「高学年のみなさんがリーダーとして思いやりの気持ちをもって下級生を引っ張っていること」です。「皆さんが今このように、当たり前のように挨拶ができ、思いやりの気持ちをもって、元気でたくましく過ごしているのも、この40年間に大鷲小学校で学んできた卒業生や、多くの先生方から良き伝統が引き継がれているからこそ」というお話に子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。

次に、児童会運営委員の皆さんが「児童代表の言葉」を述べました。



【児童代表の言葉】

- ・40年と聞いて私たちはとても長い歴史をもっている学校なんだろうと思いました。お父さんやお母さんが子どもの頃、ここで学校生活を送っていたという話も聞きます。私たちも含めて、この大鷲小学校は地域の皆さんがずっと大事にしてきた学校なんだなと思いました。
- ・これからも、みんなで仲良く、「笑顔と一生懸命がいっぱいの大鷲小学校」にしていけるように、全校の皆さん、一緒に頑張りましょう。地域の皆さん、これからも私たちのことをよろしくお祈りします。

次に「学校創立時の話」を大鷲小学校学校運営協議会委員で宮のぼりクラブ代表の藤原照夫様からご講話をいただきました。



【学校創立時の話】

- ・大鷲小学校の体育館は基準よりも大きく造られました。それはどうしてかという、子どもたちに伸び伸びと活動してほしいと、地域の皆さんが市にお願いしたからです。グラウンドもまた広く造られました。このことから地域の皆さんの新しい学校への期待や子どもたちへの思いの深さが感じられますね。
- ・校歌が完成したのは、開校の翌年3月でした。大鷲小学校で学ぶ子どもたちが豊かな自然の恵みを体いっぱいにもらって、逞しく成長する姿が想像できる素敵な校歌ですね。私は作詞の笠原先生・作曲の錫村先生を乗せて校区内を案内しました。その途中で先生方は、食用菊や信濃川の近くにある梨畑にとっても興味を注がれて車を停めて眺めておられました。
- ・これまでの40年にわたる大鷲小学校の歩みは、これからも子どもたちに「生きる力」を育みながら続いていきます。これから先も創立時に勝るとも劣らない、学校を愛しむ皆さんの思いを糧にして大鷲小学校が一層進展することを願っております。



【創立40周年記念品】

最後に全校児童と参列者で、大鷲小学校の校歌を歌い、創立40周年記念式典を終わりました。

【力作ぞろいの文化祭！】10月22日(土)

創立40周年記念式典が終わり、続いて文化祭の恒例行事「各学年児童による作品紹介発表」を行いました。代表児童の皆さんは、自分の作品作りのがんばったところや苦労したところなどを堂々と発表していました。その後、各学年の作品を鑑賞してまわりました。来賓の皆様から、児童の作品の色使いや生き生きとした作品構成に感心してしました。代表児童の発表内容も紹介します。



1年(工作) こやなぎ よう
「たいほうぶね」
きにいてるところは、ふねのよこにたいほうがついてるところです。ときにせめられてもだいじょうぶなようにふねのうしろにガードをつけました。

2年(絵画) 吉田 凌
「土の中のあり」
紙をうまくちぎることができたから、ありたちのへやがいっぱいできてうれしかったです。ありのへやには女王ありがすんでいてたまごをいっぱいもっています。

3年(工作) 江部 真央
「海と山の世界」
くるくるランドでは、海と山の世界を作りました。海の世界ではタコが気に入っています。山の世界では、ハチのすの中にハチミツを入れたところを工夫しました。

4年(絵画) 桑原 芽生
「気になった3匹の動物」
アグリパーク宿泊体験学習でふれ合った動物たちを書きました。特にヤギをかくことをがんばりました。顔にかけをつけて立体的に見えるようにしました。

5年(工作) 渡辺 奏汰
「青い魚」
糸のこを使って、青い魚のホワイトボードを作りました。口のところが難しかったけれど、上手に切れてよかったです。

6年(絵画) 田村 大翔
「将来はNBAスター!!」
僕の将来の夢はNBAプレイヤーです。それを実現させて絵に表しました。頑張ったところや工夫したところはダンクをした人を大きく描いたところ。大変だったところは羽とゴールネットの紐に影を付けたところです。

◎ 他に、1年生こいけ あこさん、2年生横山 新さん、3年生遠藤陽馬さん、4年生藤崎結衣さん、5年生長谷川未織さん、6年生丸山心晴さんが作品紹介発表をしました。